



子育て支援活動 「ぴよぴよ」活動報告書

(1) グループが活動を始めたきっかけ・活動の目的

平成 22 年 10 月に教育学部実験・実習棟の一階に保育実習室が設置されたことをきっかけに学生が実践的に学ぶ場、実際に小さい子どもとふれあえる場として、地域の方を招き平成 23 年度に子育て支援活動をスタートした。皇學館大学子育て支援活動「ぴよぴよ」は本年(平成 26 年度)で 4 年を迎えた。

その目的は、①子どもの遊び場として、②保護者の交流・子育て相談の場として、③学生の実践的な学びの場として位置づけている。

(2) グループのメンバー構成等

保育士や幼稚園教諭、小学校教諭を目指している教育学科幼児教育コースの学生 4 年生有志約 30 名が中心になる。基本的に学生は、主担当 3 人、サポート 3 人の計 6 人でチームを組んで取り組むが、3 年生が中心となり行うこともある。



(3) 現在の主な取り組み内容

皇學館大学の保育実習室を開放し、地域に住む未就園の乳児・幼児とその保護者を対象に子育て支援活動を行っている。年間の開催日数は実習、試験期間等を除く約 23 回で毎週水曜日の 10 時から 11 時 30 分までである。前半は親子で、あるいは、学生と子どもが自由な遊びを行う。その後 11 時を目途に遊びを片付け、全体活動に入る。活動内容はすべて担当学生の企画によるものである。この活動は、保育・教育実習とは異なり、仲間と支え合いながら協力していくことができ、お互いに高めあいながら様々な工夫をし取り組むことができる。手遊び、歌遊び、リズム遊び、パネルシアター、人形劇などを取り入れた“親子ふれあい遊び”“季節をテーマにした遊び”“行事に合わせた活動”などを行うことが多い。



実施後は、3人の主担当学生、3人のサポート学生、3人の教員・支援員で、約20分の反省会を行う。学生は各自の取り組みを振り返り、感想を含め成果と課題を語りあう。反省会の内容は備え付けのノートに記録し、各自「振り返り記録」もまとめる。

以下は大まかな日程である。

時間	実施内容
9:00~10:00	保育実習室準備(前日も含め)、駐車場案内、受付
10:00~10:50	順次活動開始、親子・支援学生による自由な遊び (描画・制作、水遊び等含む) 並行して保護者と交流していく。
10:50~11:00	片付け
11:00~11:25	支援学生による親子ふれあい遊びの指導 (例：季節のうた、手遊び、ふれあい遊び、リズム遊び、わらべ歌遊び、ペープサート、パネルシアター、人形劇など2~3組み合わせ て実施)
11:25~11:30	教員スタッフが「子育てのポイント」または「感想」を一言述べる。
11:30	順次参加者解散
11:45~12:10	支援学生の反省会(担当・参加学生が各自の保育・支援のあり方を省察する)
12:10~	片付け

(4) 地域との連携の具体的状況

近隣の幼稚園・保育所などに案内を配布し、参加を呼び掛けている。また、未就園児・保護者の参加により口コミで広がって行き、たくさんの方に利用されている。学生の学びの場としてだけでなく保護者と関わっていくことで子育ての実態について学ぶことができるとともに、保護者側も学生の取り組みを期待して参加している姿がある。そして、この活動を通し、学生と保護者との関わりだけでなく、保護者同士をつなぐ役割を担っている。

(5) これまでの取組の成果・課題

保育実習室の大きさは通常の保育室を一回り大きくしたものであるが、乳幼児用トイレ、テラス、手洗い場、小さな園庭(ログハウス、砂場、滑り台)を備えており、未満児から未就

園児まで幅広く利用しやすくなっている。本年度(26年)は、計23回の活動を行ってきた(図1)。

平成26年度子育て活動実施表(図1)

回	月	日	内容	主担当	補助	回	月	日	内容	主担当	補助
							9	25			
①	4	16	学生企画(こっこ)	A	b		10	1			
②		23	学生企画(たまご)	B	c	⑭		8	学生企画(たまご)	C	d
	5	7				⑮		15	学生企画(こっこ)	D	e
③		14	学生企画(こっこ)	C	d	⑯		22	学生企画(たまご)	E	f
④		21	学生企画(たまご)	D	e			29			
⑤		28	学生企画(こっこ)	E	f	⑰	11	12	学生企画(こっこ)	F	g
⑥	6	4	学生企画(たまご)	F	g	⑱		19	学生企画(たまご)	G	a
⑦		11	親子ふれあい遊び (こっこ)	G	a	⑲		26	学生企画(こっこ)	A	b
⑧		18	【3年生】企画(たまご)	Iグループ		⑳	12	3	学生企画Xマス会(たまご)	B	c
⑨		25	【3年生】企画(こっこ)	IIグループ		㉑		10	学生企画Xマス会(こっこ)	C	d
⑩	7	2	【3年生】夏祭り(たまご)	IIIグループ				17			
⑪		9	【3年生】夏祭り(こっこ)	IVグループ			1	7			
⑫		16	学生企画水遊び(たまご)	A	b	㉒		14	学生企画(たまご)	D	e
⑬		23	学生企画水遊び(こっこ)	B	c	㉓		21	学生企画(こっこ)	E	f

※ 大文字表記3人が主担当、小文字表記3人は補助担当

※ 6/11については外部からの講師を招請した。

参加実態は、様々であるが最少10組程度、最多は37組であった。きょうだいで利用することもあるので約75人以上の参加の時もあった。

利用者は伊勢市在住の未就園児とその保護者が中心であるが、そのうちの約半数が継続参加、残りは随時参加であると考えられる。

学生の立場としての成果は、やはり子どもや保護者の方と実際に関わることを通して、子ども理解、保護者理解が深まるということである。

(6) 今後の方向性・将来の夢

子育て支援「ぴよぴよ」に携わる私たちは、大学において専門の学びを得て主に保育士資格、幼稚園教諭1種免許状、小学校教諭1種免許状を取得する。将来の方向性はそれぞれであるが、講義内や実習経験だけでなく子育て支援活動を通し、一人ひとりが実践力と

大きな自信を身に付けることができた。

この1年間、学生はチームとなり様々な活動を協力し、工夫して行ってきた。仲間を取り組むことの大切さと楽しさを学んだ。これまで取り組んできた中で培った実践力、保護者との関わりを通して身に付いたコミュニケーション力を今後、社会で活かしていきたいと考える。そして、学生の実践的な学びの場だけでなく、保護者同士の交流の場となり、学生と地域をつなぐ子育て支援活動を後輩に受け継いでいき、これからもたくさんの人に支えられながら活動していきたいと考える。

小さな子が安心して楽しく遊べる場、
保護者さんがほっと息抜きのできる場、
そして私たち学生が子どもの心を理解し保護者さんから子どもの育ちを学べる場を
これからも大切にしていきたい。

※掲載写真は保護者の了解を得たものである。